

医師不足対策専門委員会

(平成 26 年度)

医師不足対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 医師不足対策専門委員会

委員長 河野 修興

I. はじめに

本委員会は、平成 26 年 12 月 10 日（水）に開催し、広島県と広島県地域医療支援センターから、広島県の医師不足の現状として、今年度の初期臨床研修のマッチング状況や研修修了後の医師の進路などについて報告後、平成 27 年度から初期臨床研修医を対象に開始予定の「新・内科専門医制度」に向け広島県の対策について検討した。

II. 協議内容

1) 広島県の医師不足の現状について

・平成 26 年度初期臨床研修マッチング状況について
広島県医療政策課より、今年度の医師臨床研修マッチング結果について報告があった。

募集定員は 210 名（前年度比 23 名増）のところ、中間一位 139 名（24 名減）、最終結果は 148 名（11 名減）となった。都道府県定員に対するマッチ者の割合（充足率）は昨年の 85% を大幅に下回る 70.5% であった。

・初期臨床研修修了後の医師の進路について

広島県地域保健医療推進機構（広島県地域医療支援センター）より、県内の臨床研修病院 25 施設を対象に、臨床研修医の確保・定着を図るための施策を検討するための基礎データを収集したところ、出身高校が広島県内で、かつ、広島大学卒業の医師が臨床研修修了後、県内の病院で採用される割合は、92.7% と非常に高く、ほとんどの医師が引き続き県内で就業している状況であった

・年齢階層別の医師数と医師の地域偏在について

本県の人口 10 万人対の医師数は 256.1 人で全国の 237.8 人を上回る。また医師数も平成 22 年と比較し平成 24 年現在 185 人増加している。ただ一方で 20、

30 歳代の医師が全国平均よりも減少している点、過疎市町の人口 10 万人対医師数は全県平均の 3/4 と地域偏在と市町ごとの格差が今後の課題である。

・広島大学ふるさと卒卒業医師に係るキャリアプランについて

竹内委員より、卒後研修の例を挙げ、広島大学ふるさと卒卒業医師が、義務年限終了後も、長く本県の医療に貢献することを期待し、医師の育成・配置について検討を重ね、キャリアプランを作成した旨報告があった。

具体的には、ふるさと卒卒業医師の配置先病院を 5 群に分類し、初期臨床研修修了後のコース選択とキャリアプランを示したものとなっている。

出席の委員からは、あくまで中山間地域の支援のための人員であるため、ふるさと卒外で中山間地域勤務を希望している医師との調整を慎重に行って欲しい、との要望があった。また、医療法に基づいた病院群の位置づけに対しても質問があり、医師会立病院も広島県独自で加えてはどうか、との提案があった。

2) 新・内科専門医制度に向けた広島県の状況について

日本内科学会では、「よりよい内科医を育成する」ため、2015 年以降卒業の医師を対象に、卒後 5 年の研修を踏まえて取得した新・内科専門医を基本領域専門医とし、内科系サブスペシャリティ研修を経て取得した各内科系専門医とによる内科系二段階性を骨格とする制度の開始を目指している。地域医療におけるさまざまな問題点が明らかとなったこと、内科系専門医の領域的、地域的偏在などの問題が顕在化したことを受けての提案である。

全国的に同じ悩みを抱えることとなるので、金銭面とローテーションの問題をクリアしつつ、広島で

後期研修を受ければ専門医になることができるというアピールが今後必要になる。

こうした最新の状況や広島県に医師を呼び込むための対策を講じる必要があるため、日本内科学会認

定医制度審議会副会長・高知大学教授の横山彰仁先生をお招きし、県内関係者の共通認識を持つ意味で説明会を開催する提案が出たが、専門医制度が明確に決まっていないため保留となった。

広島県地域保健対策協議会 医師不足対策専門委員会

委員長	河野 修興	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
委員	伊藤 公訓	広島大学病院
	桑原 正雄	広島県医師会
	坂口 孝作	福山市民病院
	坂上 隆士	広島県健康福祉局医療政策課
	阪谷 幸春	広島市健康福祉局保健部保健医療課
	末廣 真一	公立世羅中央病院
	竹内 啓祐	広島大学医学部
	武澤 徹	安芸太田病院病院
	高橋 忠照	東広島医療センター
	徳毛 宏則	JA 広島総合病院
	豊田 秀三	広島県医師会
	中西 敏夫	広島県医師会・市立三次中央病院
	橋本 康男	広島県地域保健医療推進機構
	服部 登	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	檜谷 義美	広島県医師会
	古川 正愛	広島県地域保健医療推進機構
	古川 善也	広島赤十字・原爆病院
	豊後 晴一	広島県健康福祉局
	水之江知哉	呉医療センター・中国がんセンター
	山田 博康	広島県医師会
山本 秀也	広島大学病院	